

## ① 熱・痛み（鎮痛・解熱・抗炎症薬・片頭痛薬）

- 処方薬** アスピリン  
イミグラン（スマトリブタンコハク酸塩）  
インテンバン（インドメタシン）  
SG配合顆粒  
カロナール（アセトアミノフェン）  
セレコックス錠（セレコキシブ）  
タリージェ（ミロガバリンベシル酸塩）  
ブルフェン（イブプロフェン）  
ボルタレン（ジクロフェナクナトリウム）  
リリカ（プレガバリン）  
ロキソニン（ロキソプロフェンナトリウム水和物）
- 市販薬** エルペインコーワ  
バファリンA、バファリンルナJ  
フェリア  
ボルタレンACローション、ボルタレンEXテープ  
ロキソニンS、ロキソニンSプラス、ロキソニンSプレミアム

## ② 筋肉の痛み・こわばり（中枢性筋弛緩薬）

- 処方薬** テルネリン（チザニジン塩酸塩）  
ミオナール（エペリゾン塩酸塩）

## ③ かぜ（総合感冒薬）

- 処方薬** PL配合顆粒  
ベレックス配合顆粒
- 市販薬** パイロンPL錠、パイロンPL錠ゴールド、パイロンPL顆粒、パイロンPL顆粒Pro、  
パブロンSゴールドW錠、パブロンSゴールドW微粒
- 注意** 市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多いため、製品名全体が**完全に一致**することを確認する。  
かぜの特効薬はないので、症状にあわせて①、④、⑭などの薬を選んで使用した方が有効な場合もある。

## ④ せき・たん（鎮咳去痰薬）

- 処方薬** アストミン（ジメメルファンリン酸塩）  
フスタゾール（クロペラスチン）  
ムコソルバン（アンブロキシール塩酸塩）  
ムコダイン（L-カルボシステイン）  
メジコン（デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物）
- 市販薬** 新コンタックせき止めダブル持続性  
ストナ去たんカプセル  
タイムコール去たん錠
- 注意** 市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

## ⑤ じんましん・アレルギー・花粉症（アレルギー用薬）

- 処方薬** アレグラ（フェキソフェナジン塩酸塩）  
アレジオン（エピナスチン塩酸塩）  
アレロック（オロパタジン塩酸塩）  
インタール（クロモグリク酸ナトリウム）  
ザイザル（レボセチリジン塩酸塩）  
ザジテン（ケトチフェンフマル酸塩）  
シダキュアスギ花粉舌下錠（アレルギー治療エキススギ花粉）  
デザレックス錠（デスロラタジン）  
ピラノア錠（ヒラスチン）  
ミティキュアダニ舌下錠（アレルギー治療ダニエキス）
- 市販薬** アレグラFX  
アレジオン20  
クラリチンEX
- 注意** 市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

## ⑥ 胃炎・胃潰瘍

- 処方薬** アルサルミン（スクラルファート水和物）  
ガスター（ファモチジン）

- ガストローム顆粒（エカトナトリウム水和物）  
セルベックス（テプレノン）  
タケキャブ錠（ボノプラザン）  
ネキシウム（エソメプラゾール）  
パリエット錠（ラベプラゾールナトリウム）  
プロテカジン（ラフチジン）  
マーロックス懸濁用配合顆粒（乾燥水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム）  
ムコスタ（レバミピド）  
アシノンZ胃腸内服液、アシノンZ錠  
ガスター10

**市販薬**

**注意** 市販薬には禁止物質（ストリキニーネ）が含まれているものがある。

## ⑦ 腹痛（鎮痙・鎮痛薬）

- 処方薬** プスコパン錠（ブチルスコポラミン臭化物）
- 市販薬** コランチルA顆粒  
サクロンQ

## ⑧ 消化不良・食べ過ぎ（消化酵素配合薬）

- 処方薬** タフマックE  
ベリチーム配合顆粒
- 市販薬** エビオス錠（\*指定医薬部外品）  
タナベ胃腸薬ウルソ  
パンラクミン錠（\*指定医薬部外品）

## ⑨ 便秘

- 処方薬** アミティーザカプセル（リビプロストン）  
グーフイス（エロピキシパット水和物）  
酸化マグネシウム  
プルゼニド錠（センノシドA・B）  
モビコール配合内用剤（マクロゴール4000）  
ラキシベロン（ピコスルファートナトリウム水和物）  
リンゼス（リナクロチド）
- 市販薬** イチジク浣腸  
コーラック  
酸化マグネシウムE便秘薬

## ⑩ 整腸薬・下痢止め

- 処方薬** タンナルビン（タンニン酸アルブミン）  
ピオスリー配合錠（ラクトミン・酪酸菌・糖化菌）  
ピオフェルミンR（耐性乳酸菌）  
ラックビー微粒N（ビフィズス菌）  
ロペミン（ロペラミド塩酸塩）
- 市販薬** イノック下痢止め  
ロペラマックサット

## ⑪ 吐き気・乗り物酔い

- 処方薬** トラベルミン配合錠（ジフェンヒドラミンサリチル酸塩・ジプロピリン）  
ナウゼリン（ドンペリドン）  
プリンペラン（メトクロプラミド）
- 市販薬** センパアQT、センパアトラベル1、センパアドリンク、  
センパアプチベリー、センパアラムキュア  
マイトラベル錠

## ⑫ 不眠・イライラ（催眠鎮静薬）

- 処方薬** アモバン錠（ゾピクロン）  
セルシン（ジアゼパム）  
ハルシオン錠（トリアゾラム）  
ベルソムラ錠（スボレキサント）  
マイスリー錠（ゾルピデム酒石酸塩）  
ロゼレム錠（ラメルテオン）  
ドリエル
- 市販薬** ドリエル
- 注意** 催眠鎮静薬の海外への持ち出し、持ち込みには厳重な規制がある。

## ⑬ 痔疾用薬

- 処方薬** ヘモクロンカプセル（トリベノシド）  
ポステリザン（大腸菌死菌浮遊液）
- 市販薬** コラギノールM軟膏、ボラギノールM坐剤
- 注意** 経直腸による糖質コルチコイドの使用（注入軟膏および坐剤を含む）は禁止されるが、肛門周囲に塗布する糖質コルチコイドを含有する痔疾患治療の軟膏は、使用可能である。

## ⑭ 鼻づまり（耳鼻用薬）

- 処方薬** アラミスト点鼻液（フルチカゾンフランカルボン酸エステル）  
インタール点鼻液（クロモグリク酸ナトリウム）  
ザジテン点鼻液（ケトチフェンフマル酸塩）  
プリピナ液（ナファゾリン硝酸塩）
- 市販薬** エージーアレルカットEXc  
パブロン鼻炎アタックJL
- 注意** ・糖質コルチコイドの経口・注射・経直腸使用は禁止だが、点鼻・点鼻は使用可能である。  
・血管収縮薬であるナファゾリンなどの点鼻は、用法・用量に従う限り使用可能である。

## ⑮ 目薬（眼科用薬）

**処方薬** 抗菌薬・ビタミン類・人工涙液の処方薬は使用可能。

### 感染症

- 市販薬** サンテ抗菌新目薬  
ロート抗菌目薬EX

### ビタミン類・疲れ目

- 市販薬** サンテ40プラス  
ロートゴールド40

### 人工涙液・ドライアイ

- 市販薬** スマイルコンタクトピュア  
ソフトサンティア

### 洗眼薬

- 市販薬** アイボンd  
フレッシュアイAG

### 花粉症

- 市販薬** アイリスAGガード
- 注意** 糖質コルチコイドの経口・注射・経直腸使用は禁止だが、点眼、軟膏は使用可能である。

## ⑯ にきび（尋常性ざ瘡治療薬）

- 処方薬** アクアチム（ナジフロキサシン）  
スタデルム（イブプロフェンピコノール）  
ゼビアックス（オゼノキサシン）  
ディフェリングル（アダパレン）  
ベピオゲル（過酸化ベンゾイル）
- 市販薬** エバユースにきび薬  
オロナインH軟膏  
テラマイシン軟膏a

## ⑰ うがい薬・口腔内殺菌薬・口内炎薬

- 処方薬** 含嗽用ハチアズレ顆粒（アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・炭酸水素ナトリウム）  
SPトローチ（デカリニウム塩化物）
- 市販薬** 浅田館のどクールスプレー  
イソジンうがい薬
- 注意** 糖質コルチコイドの口腔内使用は禁止されている。

## ⑱ 抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬

- 処方薬** アメナリーフ（アメナメビル）  
イトリゾール（イトラコナゾール）  
イナビル吸入粉末剤（ラニナミビルオクタン酸エステル水和物）  
クラビット（レボフロキサシン水和物）  
クラリス（クラリスロマイシン）

ケフラール（セファクロル）  
 サワシリン（アモキシシリン水和物）  
 ジスロマック（アジスロマイシン水和物）  
 ソビラックス（アシクロビル）  
 ソフルーザ（パロキサビルマロキシル）  
 タミフル（オセルタミビルリン酸塩）  
 ネイリンカプセル（ホスラブコナゾールL-リシンエタノール付加物）  
 バルトレックス（バラシクロビル塩酸塩）  
 ミノマイシン（ミノサイクリン塩酸塩）  
 エンペシドL、エンペシドクリーム  
 メディトリート、メディトリートクリーム

市販薬

## 19 ビタミン・滋養強壮

- ・ビタミン剤：各種ビタミンは禁止されていない。しかし、ビタミン類に種々の強壮薬などを配合した製剤、とくに外国製品には禁止物質を含むものがある。医薬品の場合には内容を明記してあるが、医薬品以外には使用しないほうが賢明である。
- ・滋養強壮保健薬：医薬品にも男性ホルモンやストリキニーネなどの禁止物質やモニター物質を含むものがある。漢方を含むものや外国製品も組成不明が多く、禁止物質陽性となることが多い。使用しないほうが賢明である。

## 20 鉄欠乏性貧血（鉄剤）

処方薬 フェルムカプセル（フマル酸第一鉄）  
 フェロ・グラデュメット錠（硫酸鉄）  
 フェロミア（クエン酸第一鉄ナトリウム）  
 市販薬 ファイチ  
 ヘマニック  
 マスチゲン錠

注意 鉄剤は、経口投与が原則で、注射（静脈内投与）は鉄過剰・健康障害のハイリスクとなる。

## 21 気管支炎・気管支喘息

処方薬 アズマネックスツイストヘラー（モメタゾンフランカルボン酸エステル）  
 アドエア（サルメテロールキシナホ酸塩、フルチカゾンプロピオン酸エステル）  
 アトロVENT エロゾル（イプラトロピウム臭化物水和物）  
 オキシスタービュヘイラー（ホルモテロールフマル酸塩水和物）  
 オノン（ブランルカスト水和物）  
 オルベスコインヘラー（シクレンソド）  
 キプレス（モンテルカストナトリウム）  
 キュバールエアゾール（ベクロメタゾンプロピオン酸エステル）  
 サルタノールインヘラー（サルブタモール硫酸塩）  
 シムビコートタービュヘイラー（ホルモテロールフマル酸塩水和物、ブデソニド）  
 シングレア（モンテルカストナトリウム）  
 セレVENT（サルメテロールキシナホ酸塩）  
 テオドール（テオフィリン）  
 パルミコート（ブデソニド）  
 フルタイド（フルチカゾンプロピオン酸エステル）  
 フルティフォームエアゾール  
 （ホルモテロールフマル酸塩水和物、フルチカゾンプロピオン酸エステル）  
 レルベア  
 （ビランテロールトリフェニル酢酸塩、フルチカゾンフランカルボン酸エステル）

注意 ・ベータ2作用薬は常時禁止物質であるが、サルブタモール、ホルモテロール、サルメテロール、ビランテロールの吸入（ネプライザーは除く）は、添付文書記載の用法・用量に従う限り使用可能である。  
 ・糖質コルチコイドの経口・注射・経直腸使用は禁止されるが、喘息の疾患に対する吸入による局所使用は可能である。

## 22 高血圧

処方薬 アジルバ錠（アジルサルタン）  
 アダラート（ニフェジピン）  
 アムロジン（アムロジピンベシル酸塩）  
 オルメテックOD錠（オルメサルタンメドキシミル）

ニューロタン錠（ロサルタンカリウム）  
 ノルバスク（アムロジピンベシル酸塩）  
 プロプレス錠（カンデサルタンシレキセチル）

注意 ・利尿薬との配合薬は禁止である。  
 ・ベータ遮断薬は競技種目により禁止である。

## 23 痛風・高尿酸血症

処方薬 ウラリット（クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物）  
 コルヒチン錠（コルヒチン）  
 ギャイロリック錠（アロプリノール）  
 フェブリク錠（フェブキソスタット）  
 ユリノーム錠（ベンズプロマロン）

注意 プロベネシドは禁止である。

## 24 糖尿病

処方薬 経口血糖降下薬（SGLT2阻害薬を含む）およびGLP1受容体作用薬は使用可能。

注意 インスリンは禁止である。

## 25 ワクチン

処方薬 インフルエンザHAワクチン  
 子宮頸がんワクチン  
 新型コロナウイルスワクチン

## 26 月経関連（女性ホルモン薬）

処方薬 ジェミーナ配合錠（レボノルゲストレル、エチニルエストラジオール）  
 ディナゲスト（ジェノゲスト）  
 デュファストン錠（ジドロゲステロン）  
 トリキュラー錠21、トリキュラー錠28（エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル）  
 ノルレボ錠（レボノルゲストレル）  
 プラノバル配合錠（ノルゲストレル・エチニルエストラジオール）  
 マーベロン21、マーベロン28（エチニルエストラジオール・デングステル）  
 ヤーズフレックス配合錠（エチニルエストラジオール・ドロスピレノン）  
 ルナベル配合錠LD、ルナベル配合錠ULD（エチニルエストラジオール・ノルエチステロン）  
 女性ホルモン薬は月経周期の変更、経口避妊薬、アフターピル（緊急避妊薬）にも用いられる。

補足 女性ホルモン薬は月経周期の変更、経口避妊薬、アフターピル（緊急避妊薬）にも用いられる。

## 27 消毒薬

処方薬 イソジン（ポビドンヨード）  
 オスパン（ベンザルコニウム塩化物）  
 ヒピテン（クロルヘキシジングルコン酸塩）

市販薬 オキシドール  
 マキロンS

本リーフレットは日本スポーツ協会のホームページよりダウンロードできます。具体的な医薬品についての問い合わせ方法についても記載しています。アンチ・ドーピング情報と併せてご確認ください。

HPはこちら⇒ <https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid537.html>



〒160-0013  
 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE



# アンチ・ドーピング 使用可能薬リスト

2022年版（有効期間：2022年1月1日～2022年12月31日）

- 本リストには、競技会時を含めいつでも安心して使用できる薬をあげました（競技会外検査では競技会検査禁止物質の一部を検査）。
- 禁止物質でも申請手続きにより「治療使用特例（TUE）」を受けられる場合があります。また使用量が少なく尿中濃度が低ければ使える薬などありますが、そのような使用条件に制限がある薬はあげておりません。  
 ＊特定競技において使用が禁止される薬もあります。各競技の禁止物質リストを参照し注意してください。
- 本リストは例示であり、他にも多くの使用可能な医薬品があります。
- ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、先発医薬品と同等の有効成分を含有しておりますので、基本的には使用可能です。
- 本リストは、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の禁止表国際基準（1月1日発効）に伴い、毎年改定されます。

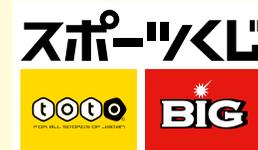
〈凡例〉

処方薬：医師の処方が必要な薬

市販薬：処方せんなしで買える薬

（ ）内は成分名

市販薬は名前全体が**完全に一致**することを確かめてください。ほとんど同じ名前でも頭に「新」が、終わりに「錠」や「会社名」あるいは「アルファベット」がついているだけで組成が異なる場合があります。



スポーツ振興くじ助成事業